

日本史探究

日本史探究

〔I〕以下の文を読んで、以下の問いに答えよ。

701年、（ア）が制定されると、それまでの土地・人民の支配制度も整理された。
A 政府は6年ごとに戸主を筆頭に戸口の性別・年齢・身分を登録した。身分は良民（公民）
と、官や良民に隷属する賤民に大別された。登録された内容に基づいて、人々には6年
ごとに口分田が支給され、税が取り立てられた。口分田はその後回収され、再度調査の上、
支給された。これを（イ）と呼ぶ。B 土地と人民の私有は許されず、「公」のものだった。

しかし、この制度はしばらくたつと機能しなくなっていた。一つには人口の増加による口分田の不足がある。そこで政府は722年に（ウ）をたて、開墾を進め、更には723年に（エ）を制定した。これにより新たに灌漑施設を作って開墾した田は3代にわたって、既存の施設を利用して開墾した田は当人1代に限り、墾田の所有を認めた。

しかし（エ）はうまくゆかなかった。そこで政府は743年に（オ）を制定した。これにより土地の開発は大きく進んだ。₍₁₎ 開墾は貴族・寺院や地方の豪族が中心となつて、有力な農民を雇う形で進められ、開墾した土地の多くが有力貴族や寺社に寄進された。

一方、律令制の浸透が進むと税負担が重くのしかかり、農民は様々な方法で税から逃れようとした。例えばC 登録された土地から離れる者や、D 納税から逃れて行方不明となる者が多発した。そして税が免除される地方豪族や有力寺社の支配下に入り、その労働力となって田畑の開墾や耕作に従事した。結果、土地と人民の私有が大きく進んだ。

問1 空欄（ア）～（オ）に入る適切な語句を語群から書き抜いて答えよ。

【語群】

大宝律令	三世一身法	班田収授法	輸租田	百万町歩開墾計画
地租改正	農地改革	養老律令	墾田永年私財法	

問2 なぜ、（エ）はうまくゆかなかったのか。次の史料はその理由を説明するものである。史料を参考に、なぜ（エ）の制度がうまくゆかなかったのか、それに対応するために政府が新たに定めた法の内容を説明せよ。

【史料】

(天平十五年五月)乙丑、詔して曰く、「聞くならく、壘田は養老七年の格に依りて限満つるの後、例に依りて収授す。是に由りて農夫怠倦して、開ける地、後に荒ると。今自り以後は、任に私財と為し、三世一身を論ずること無く、咸悉に永年取ること莫れ。其れ親王の一品及び一位には五百町、二品及び二位には四百町……六位已下八位已上には五十町、初位已下庶人に至るまでは十町、但し郡司には、大領・少領に三十町、主政・主帳に十町……」と。

『続日本紀』

問3 下線部A～Dを指し示す適切な語句を、下記の語群から選び、それぞれ漢字で記せ。

【語群】

逃散 脱税 逃亡 収奪 公地公民制
 廃藩置県 版籍奉還 戸籍 浮浪

問4 下線部(1)のような貴族や寺社に私有される土地を何と呼ぶか。漢字で記せ。

〔Ⅱ〕室町時代の日本と外国との貿易に関する次の文を読んで、以下の問いに答えよ。

室町時代は、国内で①南北朝の動乱や②守護大名の抗争が続いた一方、東アジア世界との交流が活発になった時代でもあった。14世紀後半、中国では元が滅び、漢民族の王朝である明が成立した。明は周辺諸国に朝貢を求め、同時に日本に対しては(ア)の取締りを強く要求した。当時、③壱岐・対馬・肥前松浦の住人などが数多く参加した前期(ア)は、中国沿岸などを襲撃し、米や大豆を奪い、住民を拉致するなど海賊的な活動を行っていたからである。これに対応して室町幕府3代将軍(イ)は1401年に使節を派遣し、1404年から(ウ)と呼ばれる証票を用いた日明貿易が開始された。銅・硫黄・刀剣などを輸出し、中国からは大量の(エ)や高級絹織物を輸入した。この貿易の利益は幕府財政を支え、日本国内に(エ)が広く流通する契機ともなった。

一方、(オ)半島では1392年に(オ)が建国され、日本に(ア)の取締りを求めた。(イ)はこれに応じて貿易が始まった。日本からは銅や硫黄などが輸出され、(オ)からは木綿や大蔵経などがもたらされた。しかし1419年には(オ)側が対馬を攻撃する(カ)の外寇も発生し、以後は対馬の(キ)氏が仲介役となって交易が継続された。

また、この時代に(ク)王国が成立し、明の④冊封を受けると同時に東南アジア・日本を結ぶ中継貿易で栄えた。薩南諸島を経由して胡椒や香料がもたらされ、日本との交易にも大きな影響を与えた。さらに16世紀になると、中国人中心の後期(ア)が活発化し、日本と明の貿易の停滞や東アジア海域の秩序に揺らぎをもたらしした。

このように、室町時代の日本は、(ア)の存在とその取締りを契機に、中国・(オ)・(ク)といった相手と多様な交流を展開し、東アジアの国際秩序のなかに組み込まれていったのである。

問1 空欄(ア)～(ク)に入る適切な語句・人名を、語群から書き抜いて答えよ。

【語群】

倭寇 割布 銅銭 足利義満 金貨 朝鮮 応永 宗
 島津 大越 足利尊氏 新羅 勘合 永享 大友 琉球

問2 下線部①について、南北朝の動乱期、南朝が一時的に九州を制圧した時期があるが、このとき「日本国王」として中国との通交を行った人物は誰か。記号ア～エから一つ選べ。

ア 護良親王 イ 義良親王 ウ 懷良親王 エ 成良親王

問3 下線部②について、3代将軍は有力守護の勢力削減政策をとり、たびたび合戦に及んだ。削減の対象とはならなかった守護をア～エから一つ選べ。

ア 土岐氏 イ 大内氏 ウ 一色氏 エ 山名氏

問4 下線部③について、これらの地域は現在の何県か記せ。

問5 下線部④について、冊封の読みをひらがなで記せ。そのうえで、冊封とは何かを説明せよ。

〔Ⅲ〕近世の百姓一揆に関する次の文を読んで、以下の問いに答えよ。

江戸時代の農民は、日々の生活の中で年貢や諸役など多くの負担を課されていた。17世紀後半以降、①商品経済の発展とたび重なる②飢饉により、農村社会では経済的格差が拡大するとともに、領主による増税や③専売制などの政策は農民をさらに苦しめた。

こうした中で農民たちは、まず④合法的な手段を用いて領主に要求を伝えた。しかし、要求が受け入れられない場合には、多くの村々が結集して⑤百姓一揆と呼ばれる集団行動をとった。

一揆は偶発的な暴動ではなく、旗や幟^{のぼり}を掲げ、⑥統制のとれた行動様式を伴った計画的な運動であった。刀や鉄砲などの使用はごく稀で、人を殺傷することは避けられた。また、領主側も多くの場合、要求の一部を受け入れる対応をとっていた。

さらに一揆の指導者は「(A)」として後世に語り継がれた。下総国の(B)や⑦上野国の碓^{うす}茂左衛門のように、領民の代表として直訴を行い、処刑された人物は「民のために犠牲となった正義の人」、すなわち(A)として記憶され、⑧地域の信仰対象や物語となった。(A)伝説はやがて歌舞伎や講談などの大衆文化に広まり、幕末から明治の一揆運動にも影響を与えた。

このように百姓一揆は、単なる暴力ではなく、近世社会の矛盾に対抗する農民の集団的意思表明であり、社会秩序を揺るがす大きな力をもっていたのである。

問1 下線部①について、江戸時代に商品経済が発展したことで、農民の生活や百姓一揆にどのような影響があったか。正しいものをア～エから一つ選べ。

- ア 商品経済の発展により農民の生活は安定し、一揆の数は減少した。
- イ 農村の階層分化が進み、年貢増徴などに反対する百姓一揆が増えた。
- ウ 豪農は没落したため、一揆の指導者は下層農民が担うようになった。
- エ 商品経済の発展と一揆はあまり関係がなかった。

問2 下線部②について、江戸時代に起きた主な飢饉ア～ウを年代が古い順に並べよ。

- ア 天明の飢饉
- イ 天保の飢饉
- ウ 享保の飢饉

問3 下線部③について、江戸時代の専売制に関して正しいものをア～エから一つ選べ。

- ア 専売制は江戸初期にだけ行われ、すぐに廃止された。
- イ 幕府や藩が重要物資の流通を統制し、財政収入を確保するために実施された。
- ウ 専売制は農民の生活を安定させる目的で行われた。
- エ 江戸時代には塩の専売は存在しなかった。

問4 下線部④について、江戸時代の農民は、まず合法的な手段を用いて領主に要求を伝えようとした。この手段をア～エから一つ選べ。

- ア 強訴
- イ 打ちこわし
- ウ 訴願
- エ 逃散

問5 下線部⑤について、江戸時代の百姓一揆のうち、村々の農民全体が参加し、ときに一藩全体に及ぶ規模となったものを何というかア～エから一つ選べ。

- ア 村方騒動
- イ 国訴
- ウ 惣百姓一揆
- エ ええじゃないか

問6 下記の【史料】を手がかりに、下線部⑥について、なぜ一揆が統制のとれた行動をとったのか、解答用紙の枠内に収まる範囲で述べよ。

【史料】

一、打こわすべき家の前に行かば、……頭取、宰配をふり立^{たて}ふり立^{たて}、大音に呼はり、「やあやあ者共、火の用心を第一にせよ。米穀は打ち^{うち}らすな。質物には決して手を懸けまじ。質は諸人の物成るぞ。又金銭品物は身につけるな。此働きは私欲にあらず。是は万人のため成るぞ。此家の道具は皆悉く打ちこわせ。猫のわんでも残すな」と下知を聞くより、此奴原打ちこわす、打くたく、その物音のすさまじさ、百雷のおちるかの類^{たぐい}が如くなり。

「奥州信夫郡伊達郡之御百姓衆一揆之次第」

問7 (A)・(B)に入る人名・語句を解答欄に記せ。

問 8 下線部⑦について、上野国の読みがなを記せ。

問 9 下線部⑧について、一揆の指導者たちの物語はどのような形で大衆文化に広まったか。正しいものをア～エから一つ選べ。

- ア 能楽の演目として幕府の保護を受けた
- イ 歌舞伎・講談などで上演された
- ウ 狂言の題材となった
- エ 農作業時の田楽で歌い継がれた

〔Ⅳ〕近代に関する次の文を読んで、以下の問いに答えよ。

A大日本帝国憲法では、主権は天皇が有するものと定められた。帝国議会も存在していたが、内閣はしばしば（ ア ）を標榜し、衆議院の意向を無視して政治を進めた。しかし、日清戦争、日露戦争が起ると、政府は戦争遂行のために増税と国民の協力を必要とした。その結果、民衆は政治参加を強く求めるようになり、政府も、民意とそれを代表する政党、そして議会を無視することができなくなった。

元老・伊藤博文は自ら（ イ ）を作り、それを与党として第4次伊藤内閣を組閣した。それ以降は、B官僚と陸軍を代表する桂太郎と、伊藤の後をついで（ イ ）の総裁となった西園寺公望が交互に政権を担当した。

しかし1912年（大正元年）、第2次西園寺内閣が財政難を理由に陸軍の軍備拡張を却下すると、C陸軍大臣の上原勇作が単独で辞職、内閣は陸軍大臣を得られず、総辞職に追い込まれた。後を継いだのは陸軍大将・桂太郎で、桂は大正天皇の勅令を使って、海軍と（ イ ）を、政権に協力させようとした。これに対して（ イ ）の尾崎行雄や立憲国民党の犬養毅が中心となって（ ウ ）をおこすと、不満を持った民衆も暴動を起こした。桂は自らも政党を作り、選挙によって事態を打開しようとしたが間に合わず、組閣後50日で総辞職した。はじめて民衆の直接行動によって内閣が交代した。新たに組閣した（ エ ）の内閣は自身と陸軍、海軍、外務大臣以外的大臣を全て（ イ ）に入党させるか、その議員から大臣を任命した。

第1次世界大戦中も、民衆の暴動による政変が起きた。もともと、折からの工業化政策と大戦の勃発により物価は高騰していた。そこに、シベリア出兵が重なり、一部の庄屋が米の買い占めを行った結果、米価までもが高騰した。1918年、富山県の漁村の主婦が米の廉売を求めて暴動をおこし、騒動は全国に広がった。（ オ ）内閣は軍を出動させて鎮圧にあたったが、その後に総辞職し、新たに（ イ ）の党首である原敬を首班とする政党内閣が成立した。第1次世界大戦も民主主義国が勝利し世界的にも民主政治が主流となった。

こうして大正期には大正デモクラシーと呼ばれる新しい民主的風潮が生まれ、学問の世界でも天皇制と政党政治を両立させる学説が生み出された。D憲法学では「君主主権といえども、制限を受けなければならない」と唱えられ、E政治学では、「政治の目的は民衆の福利の増大にあるのだから、政策決定の段階では民意が重視されるべきだ」と唱えられた。

問 1 空欄（ ア ）～（ オ ）に入る適切な語句・人物名を語群から書き抜いて答えよ。

【語群】

立憲政友会	絶対主義	立憲同志会	自由民主党	山本権兵衛
憲政擁護運動	寺内正毅	清浦奎吾	日本共産党	超然主義

問 2 傍線部 A について次の各問に答えよ

（1）このことを何と呼ぶか。ア～エから正しいものを一つ選べ。

ア 国民主権 イ 主権在民 ウ 天皇主権 エ 主権国家

（2）この制度の説明として適切でないものを次のア～エから一つ選べ。

- ア 主権は天皇が有するもので、臣民の権利は法律の範囲内に制限された。
- イ 主権は国民（人民）が有するものとされ、天皇は国民統合の象徴とされた。
- ウ 立法権は天皇が有するもので、議会は単に賛成するかしないかの権利を持つとされた。
- エ 主権の行使には大臣の助言が必要とされ、大臣を任免する権利はひとり天皇のみが有した。

問3 下線部Bの時期を、総理大臣を担った二人の名前をとって何と呼ぶか。漢字で記せ。

問4 下線部Cの一連の出来事を何と呼ぶか。ア～エから正しいものを一つ選べ。

ア 大正政変 イ 五・一五事件 ウ 乙巳の変 エ ジーメンス事件

問5 下線部Dについて、次の問に答えよ。

- (1) 下線部Dの考え方の提唱者は誰か。また、この考え方の名称は何か、それぞれ漢字で記せ。
- (2) 次の史料は(1)の考えを説明する論稿である。この説によれば主権は誰が有していたとしても、制限を受けることになり、天皇が主権を持っていたとしても議會を中心とした政治が可能となる。それはなぜか。史料の内容をもとに200字以内で説明せよ。

君主主權主義といひ国民主權主義といふは、唯^{ただ}国の憲法上の主義の問題であつて、即ち国の政体の差異^{はか}に外ならぬ。その何れの主義を取るかを問はず、統治権は常に国家に属する権利であつて、国家のみが統治権の主体である。国民主權主義を取るとしても、国民は国家の機関として統治を行ふのであり、君主主權主義に於いても亦君主は国家の機関として統治の最高の源たるのである。……わが憲法に於ける立憲主義^{こんてい}の根柢^{こんてい}を為して居る思想は、殊^{こと}に三点を挙げることが出来る。第一に、立憲政治は国民の翼賛に依る政治である。統治権は君主^{これ}之を専行したまふのではなく、国民の同意を得て行はせらるゝことが、立憲君主政の専制君主政の區別せらるゝ第一の要点である。……第二に、立憲政治は責任政治である。統治権^{すべ}の総ての作用が責任者あることを要し、国民及びその代表者としての議會が其の責任を質し、其の作用に付いて批評し弁難し得ることが、立憲政治の専制政治と異なる第二の要点である。……

『逐条・憲法精義』

問6 下線部Eの考え方の提唱者は誰か、またこの考え方の名称は何か。それぞれ漢字で記せ。